

「ババンババンバンバン 歯磨けよ！」これは伝説のコント番組「8時だよ！全員集合」のエンディングでのフレーズの一節ですが、これを合図に寝る前の歯磨きをする人もいたのではないのでしょうか。

歯磨きがむし歯予防に効果的、と言われますが、今回はそのむし歯についてお話します。

昭和23年（1948年）に調査が始まった文部科学省の「学校保健統計調査」では、毎年4月から6月に行われる児童や生徒の健康診断の結果から、身長や体重といった発育状態や、視力、聴力や各種疾病の有無などの健康状態について調べています。

その中から、小学生のむし歯の状況についてみてみましょう。

今から30年前（昭和61年度）、つまり、今の小学生の父母世代では山口県の小学生のうち91.5%にむし歯がありましたが、その後その割合は低下し、平成28年度には51.1%と、減少傾向にあります。

その背景には、学校での指導に加え、保護者の意識向上、予防歯科の普及、フッ化物の利用等があるようです。

ただし、むし歯の処置の状況を見ると、父母世代ではむし歯のある小学生（91.5%）のうち未処置歯のある者の割合は約60%、平成28年度でも約50%とほぼ変わらない状況にあり、まだまだ改善の必要があるようです。

6月4日から10日は「歯と口の健康週間」です。みなさん、寝る前の歯磨きを忘れずに、また定期的に歯科健診を受けて歯と口の健康に努めましょう。

